

2021年9月21日

SUBARU 新型「アウトバック」がユーロ NCAP の 2021 年安全性能テストで 最高評価「ファイブスター」を獲得

このたび、新型「アウトバック」(欧州仕様車)が、ユーロ NCAP^{*1} の 2021 年安全性能テストで、最高評価である「ファイブスター」を獲得しました。SUBARU がユーロ NCAP で「ファイブスター」を獲得するのは、2019 年のフォレスターに続いて 9 度目です。



新型アウトバック(欧州仕様車)
ユーロ NCAP 衝突試験



ユーロ NCAP 2021 年安全性能テスト ファイブスター

2021 年安全性能テストでは、「成人乗員保護」「子供乗員保護」「歩行者および自転車保護」「安全運転支援」の 4 項目において安全性能が評価され、新型「アウトバック」は全項目で「ファイブスター」認定の要件となる基準点を上回る点数を獲得。中でも、「安全運転支援」および「歩行者および自転車保護」の項目では、2020 年安全性能テストから適用された最新基準での評価を受けた全車種のうち、最も高い点数^{*2*3}を獲得しました。

今回「ファイブスター」を獲得した新型「アウトバック」(欧州仕様車)は、2021 年に発売。ステレオカメラを広角化し機能を向上させた「新世代アイサイト」を搭載しています。また、万が一の衝突時に、自車乗員の保護に加え相手車両へのダメージも軽減することを目的に、「セカンドロードパス構造^{*4}」を取り入れ衝撃吸収性能を強化。さらに、衝突時に自動でブレーキをかけ減速することで多重事故の危険を低減する「ポストコリジョンブレーキコントロール」を SUBARU で初めて採用するなど、衝突安全性にも磨きをかけました。今回の新型「アウトバック」(欧州仕様車)のユーロ NCAP「ファイブスター」獲得は、SUBARU の継続的な安全性向上への取り組みの効果を実証するものです。なお、2021 年 9 月 2 日に日本で先行予約を開始した新型「レガシィ アウトバック」(日本仕様車)にも、新型「アウトバック」(欧州仕様車)と同様に、セカンドロードパス構造およびポストコリジョンブレーキコントロールを採用しています。

SUBARU は「安心とゆしさ」を支える重要な要素である安全性能を総合安全^{*5} の考え方のもとに今後も進化させ、2030 年死亡交通事故ゼロ^{*6}を目指します。

*1: 欧州各国の交通関連当局などで構成された独立機関が 1997 年より実施している安全性能評価プログラム

*2: ユーロ NCAP 最新評価基準(2020-2022)におけるアウトバックの「安全運転支援」項目得点率は 95%

*3: ユーロ NCAP 最新評価基準(2020-2022)におけるアウトバックの「歩行者および自転車保護」項目得点率は 84%

*4: 荷重伝達経路を増やすことで、衝撃を分散させる車体構造

*5: 0 次安全、走行安全、予防安全、衝突安全+つながる安全

*6: SUBARU 乗車中の死亡事故および SUBARU との衝突による歩行者・自転車等の死亡事故をゼロ